

必ずお読みください

1

お車を安全にお使いいただくため、必ず守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
ご使用前には各章と合わせて必ずお読みください。

●日産ハイブリッドシステムについて……………	10
●お出かけまえには……………	16
●お子さまを乗せるときは……………	19
●走行するときは……………	21
●駐・停車するときは……………	24
●オートマチック車を運転するときは……………	25
●こんなことにも注意……………	27
●こんなときは異常ではありません……………	29
●イベントデータレコーダ……………	30

目次

 警告

走行する前に

走行するとき

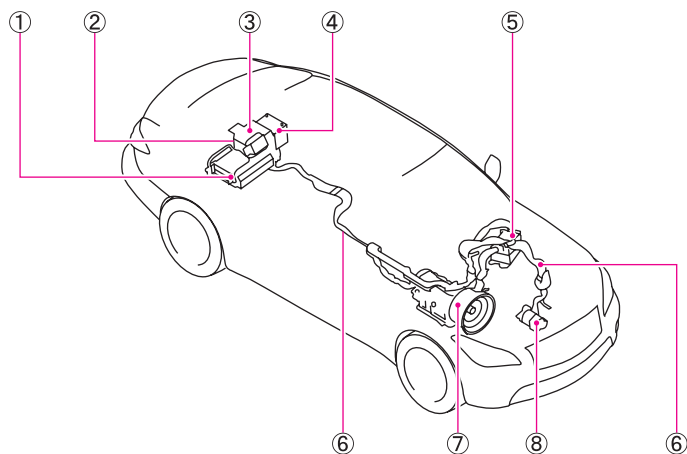
室内装
備の
使い
かた車と
の
上
手
な
つ
き万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



日産ハイブリッドシステムについて

この車両のハイブリッドシステムは、ガソリンエンジン、モーター、リチウムイオンバッテリーを効率的に組み合わせ、大幅な燃費向上と動力性能を達成させた日産独自の高性能ハイブリッドシステムです。



ZSS0047

- ①リチウムイオンバッテリー
- ②サービス・プラグ
- ③DC/DCコンバーター
- ④12Vバッテリー

- ⑤インバーター
- ⑥高電圧配線（オレンジ色）
- ⑦モーター（トランスミッションに内蔵）
- ⑧電動エアコンコンプレッサー

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



日産ハイブリッドシステムについて

ハイブリッドシステムの作動

メーター内の走行可能表示灯  (P.122) が点灯していれば、ガソリンエンジンが停止していても発進できます。

発進・低速走行

モーターだけで走行します。

通常走行（中高速）

ガソリンエンジンとモーターを燃費効率が最適になるように自動制御します。
バッテリー残量が少ない場合は、走行しながらモーターで発電させ、リチウムイオンバッテリーに充電します。

急加速走行

ガソリンエンジンとモーターの両方を使い、力強く加速します。

減速時、制動時

タイヤの回転力をモーターで電気エネルギーに変換し、リチウムイオンバッテリーに充電します。（回生ブレーキ）

停止時

エンジンを停止し、ガソリンを節約します。

その他

低速走行中又は停車中でも次の場合はガソリンエンジンが始動します。

- ・リチウムイオンバッテリーの残量が少ないとき。
（発電のため）
- ・エンジン冷却水の温度が低いとき。
（暖機のため）
- ・セレクトレバーを  にし、運転席シートベルトを外して運転席ドアを開けたとき。
（電源ポジションのOFF忘れを防止するため）

効率のよい走行方法

- 加減速はスムーズに行ってください。
急加速、急減速を控えるとリチウムイオンバッテリーの残量低下を抑えられます。
- 長時間停車するときや車を離れるときはセレクトレバーを必ず  にしてください。また、渋滞走行時などは  又はマニュアルシフトゲートのままで走行してください。
- メーター（ P.101）及びナビゲーションシステムの画面（ 別冊）に表示される燃費表示を参考にして走行してください。

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



日産ハイブリッドシステムについて

回生ブレーキについて

- セレクトレバーが **D** またはマニュアルシフトゲートで走行中に次の場合は、減速するとともにタイヤの回転力をモーターで電気エネルギーに変換し、リチウムイオンバッテリーを充電します。
 - ・アクセルペダルから足を離しているとき。
 - ・ブレーキペダルを踏んだとき。
 - ・ブレーキシステム又はハイブリッドシステムに異常がないとき。
 - 指定以外のタイヤ・ロードホイールを装着した場合は、回生ブレーキが正常に作動しないことがあります。
- P.177の「回生協調ブレーキ」も合わせてお読みください。

リチウムイオンバッテリーの充電について

- リチウムイオンバッテリーの残量が低下するとエンジンが始動し、自動的に充電を行うため、電気自動車のような外部からの充電は必要ありません。
- ただし、車両を長期間放置すると少しずつ放電するため、少なくとも2〜3か月に一度、約30分間は運転してください。(リチウムイオンバッテリーがダメージを受け、使用できなくなるおそれがあります。)
- 万一、リチウムイオンバッテリーがあがり、ハイブリッドシステムを始動できない場合は、日産販売会社に連絡してください。

- 長時間停車するときや車を離れるときはセレクトレバーを必ず **P** にしてください。渋滞時なども **D** またはマニュアルシフトゲートで走行してください。 **N** のまま長時間放置するとシステムが停止する場合があります。

ハイブリッドシステム特有の音や振動について

ハイブリッドシステム始動後は、次のような特有の音や振動が発生する場合がありますが異常ではありません。

- エンジンルームからのモーター音
 - ハイブリッドシステムの始動・停止による、車両後方からの音
 - ガソリンエンジンの始動・停止による音や振動
 - アクセルペダルから足を離したときやブレーキを踏んだときの作動音やモーター音
 - 急加速時のエンジン音
 - リヤパーセル上にある空気取入口からのファンの作動音
 - エアコンの作動音
 - 歩行者に車両の接近を知らせるための音を発します。
- 車両接近通報装置 (VSPシステム) …P.178

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



日産ハイブリッドシステムについて

注意事項について

・高電圧部品には触れない

- 高電圧部位、サービス・プラグ、高電圧の配線（オレンジ色）及びそのコネクタに触れたり、取り外し、分解などは絶対に行わないでください。重大な傷害を受けるおそれがあります。

・リチウムイオンバッテリー冷却用空気取入口をふさがない

- リヤパーセル助手席側に、リチウムイオンバッテリーを冷却するための空気取入口があります。荷物や衣類などを置いて取入口をふさがないでください。また、液体や砂など、異物が入らないように注意してください。性能低下や車両故障につながるおそれがあります。



ZSS0048

・リチウムイオンバッテリーに水をかけない

- トランクルーム内にふたのないバケツや水槽など、水がこぼれるおそれがあるものは置かないでください。リチウムイオンバッテリーに水がかかると故障の原因になります。

・事故がおきたときは

●P.340も合わせてお読みください。

- ハイブリッドシステムを停止し、車両が移動しないようにするため、次のようにしてください。

・ブレーキペダルを踏み、セレクトレバーを **P** にする。

・パーキングブレーキをかける。

・電源ポジションをOFFにする。

- 車体が大きく破損・変形しているとき、破損の状態によっては漏電や感電のおそれがあります。高電圧部位（リチウムイオンバッテリーなど）及びこれらを接続する配線（オレンジ色）には絶対に触らないでください。

- 万一、車両火災が発生したときは、消火器を使用して消火してください。水をかける場合には、消火栓などから水を大量にかけてください。

・車検、点検整備のとき

- 必ず日産販売会社にご相談ください。

・廃車にするとき

- 高電圧部品を搭載しているため、廃車する場合は必ず日産販売会社にご相談ください。

画面表示について

ハイブリッドシステムの作動状況や燃費に関する情報などを、メーター内の車両情報ディスプレイ（●P.98）及びナビゲーションシステムの画面（●別冊）に表示します。

目次

警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車とあ
いかな
うな

万一の
とき

サービ
スデー
タ

さく
いん

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



日産ハイブリッドシステムについて

エネルギーモニターについて

メーター内の車両情報ディスプレイ（P.98）とナビゲーションシステムの画面（別冊）にエンジン、リチウムイオンバッテリー及びタイヤ間のエネルギーの流れを表示します。

画面は実際の表示とは異なる場合があります。

※オレンジ色表示がエンジン、青色表示がリチウムイオンバッテリーのエネルギーの流れを示します。

	ナビゲーションシステム画面 ※	車両情報ディスプレイ
リチウムイオンバッテリーのエネルギーで走行している状態 (青色表示)	エネルギーモニター (戻る) エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0055	ZSS0063
回生ブレーキを使って、リチウムイオンバッテリーを充電している状態 (青色表示)	エネルギーモニター (戻る) エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0056	ZSS0064
エンジンのエネルギーで走行と充電の両方をしている状態 (オレンジ色表示)	エネルギーモニター (戻る) エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0057	ZSS0065
エンジンとリチウムイオンバッテリー、両方のエネルギーで走行している状態 (青色表示+オレンジ色表示)	エネルギーモニター (戻る) エンジン バッテリー 燃費・充電履歴 ZSS0058	ZSS0066

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



日産ハイブリッドシステムについて

目次

⚠ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた

車と
の上手な
付き合い

万の
とき

サー
ビスデー
タ

さく
いん

	ナビゲーションシステム画面 ※	車両情報ディスプレイ
エンジンのエネルギーで走行している状態 (オレンジ色表示)	ZSS0059	ZSS0067
エンジンのエネルギーでリチウムイオンバッテリーを充電している状態 (オレンジ色表示)	ZSS0060	ZSS0068
エンジンと回生ブレーキ、両方のエネルギーで充電している状態 (青色表示+オレンジ色表示)	ZSS0061	ZSS0069
エネルギーの流れがない状態	ZSS0062	ZSS0070
エンジンの作動状態 (エンジン回転中は「エンジン」が点灯)	ZSS0073	
リチウムイオンバッテリーの残量表示	ZSS0071	

⚠️重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

日常点検は必ず実施

- 車を安全にお使いいただくため、日常点検は必ず実施してください。
車の状態に応じて、適切な時期に実施することが法律で義務づけられています。
🔍メンテナンスノートをお読みください。
- いつもと違うことに気がついたら日産販売会社で点検を受けてください。
(音、振動、臭い、水・油漏れなど)



TSC0614Z

タイヤの空気圧を点検する

- タイヤの空気圧が不足したまま走行すると、バースト（破裂）するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。日常点検でタイヤの空気圧を点検してください。
🔍タイヤ空気圧の点検…P.304

車にあった燃料を補給

- 指定以外の燃料は補給しないでください。
- 軽油や有鉛ガソリン、粗悪な燃料を使用すると車に悪影響を与えます。

エンジン型式	指定燃料
VQ35HR	無鉛プレミアム (無鉛ハイオク) ガソリン

- 無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンも使用できますが、エンジン出力低下などの現象が発生します。

車庫や屋内ではハイブリッドシステムを作動させたままにしない

- 車庫や屋内など換気が悪い所では、排気ガスが充満しやすいため、ハイブリッドシステムを作動させたままにしないでください。排気ガスには無色無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 排気管に穴や亀裂がある場合や排気音に異常があるときは、日産販売会社で点検を受けてください。排気ガスが車内に侵入するおそれがあり危険です。



TSC0615Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

正しい運転姿勢に調節

- 走行前にシート、ハンドル、ヘッドレストの位置を正しい運転姿勢がとれるように調節し、ドアミラー、ルームミラーなどを後方視界が十分確認できる位置に調節してください。

🔍 正しい運転姿勢…P.59

シートベルトは正しく着用

- 走行する前に必ず全員がシートベルトを着用してください。
- シートベルトは正しく着用しないと、ベルトの効果が十分発揮できなかったり、ベルトによりケガをするおそれがあります。正しい着座姿勢で正しく着用してください。

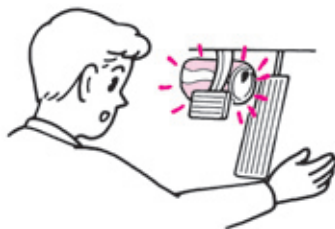


TSC0616Z

🔍 シートベルトの正しい着用…P.76

運転席足元には物を置かない

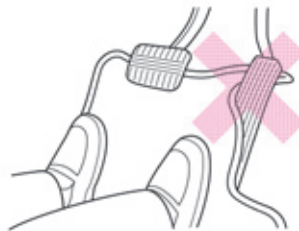
- 足元のまわりにあき缶などの物を置かないでください。
- ブレーキペダルやアクセルペダルに物が挟まると、ペダルの操作ができなくなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TCE0067Z

車に合わないフロアカーペットは使わない

- この車（年式）専用のフロアカーペットを、床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し、思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど、重大な傷害につながるおそれがあります。



ECE0065Z

🔍 フロアカーペット…P.285

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お出かけまえには

燃料が入った容器やスプレー缶などを積まない

- ガソリンや可燃性ガスの入ったスプレー缶などは積まないでください。引火や爆発するおそれがあり危険です。



TSC0618Z

インストルメントパネルの上に物を置かない

- アクセサリーや芳香剤などを置かないでください。SRSエアバッグが作動したときの衝撃で飛び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中に移動しやすい物や、視界を妨げるような大きい物は置かないでください。安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0619Z

荷物を積みすぎない

- 助手席や後席に荷物を重ねて積まないでください。急ブレーキなどのとき荷物が落ちてきて、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSA5563Z

アクセサリーの取り付けに注意

- ウィンドーにアクセサリーを取り付けると、視界の妨げになったり、吸盤がレンズの働きをして火災を起こしたり、SRSエアバッグが作動したときアクセサリーが飛んでケガをするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0644Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

お子さまは後席に

- 助手席に乗せるのは避けてください。お子さまの動作が気になったり、スイッチ、レバー類のいたずらなど安全運転の妨げになるおそれがあります。

また、助手席SRSエアバッグの格納部に近づいていると、万一の事故などでSRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。

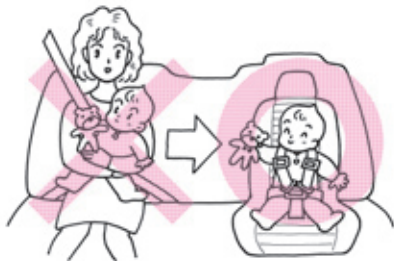
お子さまにもシートベルトを着用

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを抱いていると、衝突時などに支えることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。

🔍 シートベルトの着用のしかた…P.79

- シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨に掛からないような小さなお子さまには、チャイルドシートをお使いください。

🔍 チャイルドシート…P.83



TSA5564Z

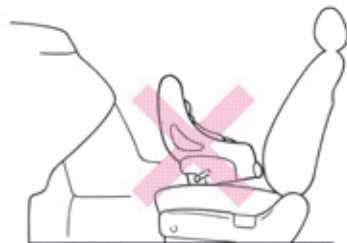
チャイルドシートは後席に

- チャイルドシートは後席に取り付け、走行する前に確実に固定されていることを確認してください。

固定方法及び取り扱いかたは、チャイルドシートに付属の取扱説明書に従ってください。

- 助手席には、チャイルドシートを後ろ向きに取り付けることはできません。SRSエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、生命にかかわる重大な傷害につながるおそれがあります。やむを得ず助手席に取り付けるときは、シートをできるだけ後ろに下げ、必ず前向きに取り付けてください。

- チャイルドシートは使用していないときでもシートにしっかりと固定するか、荷室などに収納してください。室内に放置したままにすると、急ブレーキ時などに思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0622Z

🔍 チャイルドシート…P.83

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



お子さまを乗せるときは

ドア、ウインドーなどは大人が操作

- ドア、ウインドー、トランク、サンルーフなどの開閉は、お子さまには操作させないでください。開閉時に手、首、足などを挟んだりして、重大な傷害につながるおそれがあります。
- チャイルドセーフティドアロック（○P.44）やパワーウインドーロックスイッチ（○P.53）を使用し、お子さまが操作できないようにしてください。
- お子さまがトランクで遊んで、自らが閉じ込められてしまうと、重大な傷害を受けるおそれがあります。お子さまが車のまわりにいるときは、トランクに入り込まないように注意してください。

窓やサンルーフから手や顔を出さない

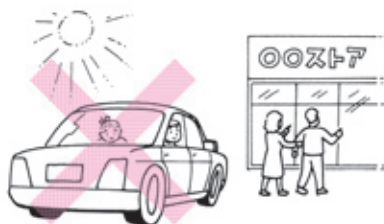
- お子さまが手や顔を出さないように注意してください。急ブレーキ時に窓枠などにぶつかったり、車外の障害物に当たったりして、重大な傷害につながるおそれがあります。



TSA5566Z

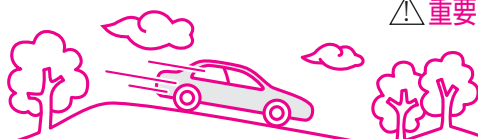
車内にお子さまだけを残さない

- 車から離れるときは、必ずお子さまと一緒に降ろしてください。炎天下では車内が高温になり、生命にかかわるおそれがあり危険です。
- お子さまのいたずらで車の発進、火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSA5567Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

車のためにならし運転を

- エンジン本体、駆動系などこの車両の持っている性能を十分に引き出すためには、ならし運転が必要です。

走行距離約2,000kmまでは適度な車速、エンジン回転数で運転してください。

走行中は電話をしない

- 運転しながらのハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話などの使用はやめてください。周囲への注意力が低下し、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSC0646Z

走行中は電源ポジションをAcc又はOFFにしない

- 走行中に電源ポジションをAcc又はOFFにすると、極度にハンドル操作力が重くなったり、ブレーキの効が悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 電源ポジションをAcc又はOFFにすると、ハイブリッドシステムが停止状態になります。再始動は停車中にしかできません。



ZSS0024

長い下り坂ではエンジンプレーキを併用

- ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効が悪くなるおそれがあり危険です。坂の勾配に応じてエンジンプレーキを併用してください。（エンジンプレーキとは走行中アクセルペダルから足を離したときに発生するブレーキ力です。）
- 坂の勾配に応じてマニュアルモードを低速ギヤに入れます。

🚫下り坂の走行…P.166



TSC1803Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

雨天時の走行は速度を落とす

- 路面がぬれると滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけてください。
- わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、タイヤが水に乗った状態（ハイドロプレーニング現象）になり、ハンドルやブレーキが効かなくなり危険です。スピードを落として走行してください。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起こりやすいので注意してください。
- 冠水路など深い水たまりは走行しないでください。エンジン破損や車両故障につながるおそれがあります。



TCA0015Z

タイヤを傷つける運転をしない

- 道路の縁石などにタイヤの側面を接触させたり、道路上の凹みや突起物の乗り越しなどは避けてください。タイヤを傷つけるおそれがあります。

水たまり走行後はブレーキの効きを確認

- 水たまり走行後や洗車後は、ブレーキの効きが悪くなることがあります。ブレーキペダルを軽く踏んで効きを確認してください。
- 効が悪いときは、周囲の安全に十分注意しながら低速で走行し、効きが回復するまでブレーキペダルを繰り返し軽く踏んでください。



TSC1804Z

滑りやすい路面を走行するときは慎重に

- ぬれた路面や凍結路、積雪路などではスピードを落としてください。
- 急加速、急ブレーキ、急ハンドル、急激なエンジンブレーキは避けてください。タイヤがスリップしやすく、思わぬ事故につながるおそれがあります。



TSA5568Z

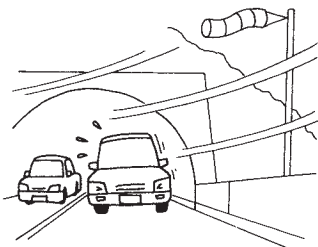
⚠ 重要です。しっかりお読みください。



走行するときは

横風が強いときは

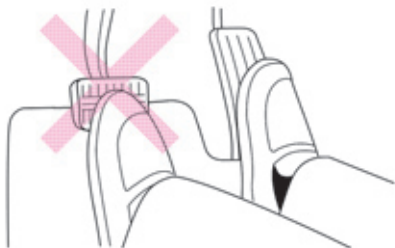
- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落としてください。
- トンネルの出口、橋の上、切り通しなどは特に横風が発生しやすいので注意してください。



TCA0018Z

ブレーキペダルに足をのせたままにしない

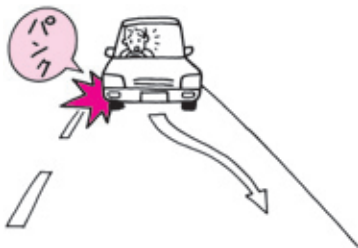
- ブレーキペダルに足をのせたまま走行しないでください。ブレーキの部品が早く摩耗したり、ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。



TCE0069Z

走行中に異常があったら

- 警告灯（○P.107、124）が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。
そのまま走行すると思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 走行中にタイヤがパンクやバースト（破裂）したときは、あわてずにハンドルをしっかり握ってスピードを徐々に落とし、安全な場所に停車してください。急ブレーキや急ハンドルを行うと、車両がコントロールできなくなり危険です。
- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに安全な場所に停車し、ブレーキ液や燃料の漏れ、マフラーなど車体下部の各部に損傷がないか確認してください。漏れや損傷がある場合は、日産販売会社に連絡してください。



TSC0632Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



駐・停車するとき

燃えやすい物の上や近くに駐・停車しない

- 枯れ草、紙、木材、油など燃えやすい物の上や近くには駐・停車しないでください。排気管や排気ガスは高温になるため着火するおそれがあり危険です。



TSA5570Z

車から離れるときは必ず電源ポジションをOFFにし、施錠する

- 無人で車が動き出したり、盗難など思わぬ事故につながるおそれがあります。車から離れるときは、必ずパーキングブレーキをかけ、電源ポジションをOFFにしてから施錠してください。
- お子さまや介護が必要な方を車内に残したままにしたり、貴重品を置いたままにしないでください。
- 坂道駐車はパーキングブレーキを確実にかけ、セレクトレバーをPに入れてください。更にタイヤに輪止めをすると効果があります。

仮眠や長時間駐車するときは必ず電源ポジションをOFFにする

- 無意識にセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故やエンジン過熱による火災などにつながるおそれがあり危険です。
- 以下の状況では走行可能表示灯 (P.122) が点灯したままの状態にしないでください。一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
 - ・ 雪が積もった場所や降雪時
 - ・ 壁などに囲まれた換気の悪い場所
 - ・ 他車の排気口が近くにあるとき



TSA5571Z

ハンドルに力をかけた状態を長く続けない

- 車庫入れなどで、ハイブリッドシステムを作動させたままハンドルをいっぱい切った状態を長く続けたり、ハンドル操作を繰り返すと、パワーステアリングシステムの過熱を防ぐためにシステムの働きを制限します。そのため一時的にハンドル操作力が重くなりますが、異常ではありません。



TSC1806Z

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



オートマチック車を運転するときは

オートマチック車はその特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

🔍詳しくは、P.165の「オートマチック車の運転のしかた」も合わせてお読みください。

クリーブ現象に注意

- 走行可能表示灯  (🔍P.122) が点灯しているとき、セレクトレバーを **P**、**N** 以外に入れると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。(これをクリーブ現象といいます。)
- 停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。特に始動直後は、動く力が強くなりますので、しっかりと踏んでください。



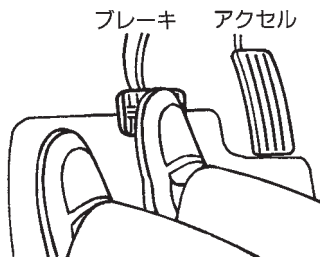
TSC1809Z

キックダウンは適切に

- セレクトレバーが **D** で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、エンジン回転数が上がって、自動的に低速ギヤに切り替わり急加速します。(これをキックダウンといいます。)
- 滑りやすい路面や急カーブではキックダウン操作を避けてください。キックダウンすると、タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

ペダルの位置を確認

- ペダルの踏み間違いは思わぬ事故につながります。ハイブリッドシステムを始動させる前に必ずペダルの位置を確認してください。
- アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



TCE0071Z

セレクトレバーの操作は正しく確実に

- 発進時はブレーキペダルを踏んでセレクトレバーを操作してください。アクセルペダルを踏んだ状態で操作すると、急発進して危険です。
 - 始動時、走行可能表示灯  (🔍P.122) が点滅から点灯に切り替わる前にセレクトレバーを **P**、**N** 以外に入れると点滅したままとなり、発進できません。
 - 後退したあとは、すぐセレクトレバーを **R** から **N** に戻す習慣をつけてください。
- 🔍セレクトレバーの使いかた…P.160

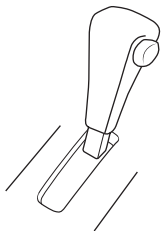
⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



オートマチック車を運転するときは

セレクトレバー位置は目で確認

- ハイブリッドシステムを始動させるときは **P**、前進するときは **D**、後退するときは **R** にあることを目で確認してください。
- 電源ポジションがONのとき、セレクトレバーを **R** に入れると、後退位置を知らせるブザーが車内で鳴ります。(車外の人に注意するものではありません。)

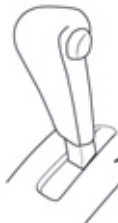


P

メーター内インジケーター
ESG0172Z

走行中は**N**にしない

- 走行中にセレクトレバーを **N** にすると、エンジンとモーターによる駆動及びエンジンブレーキが効かなくなります。



N

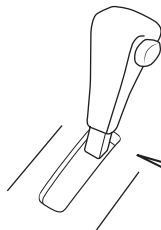
ESG0173Z

無用な空吹かしはしない

- 万一、セレクトレバーが **P**、**N** 以外に入っていると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときは**P**にする

- 走行可能表示灯  (P.122) が点灯したまま、セレクトレバーが **P**、**N** 以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込むと急発進したりして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



P

ESF0303Z

シフトロックシステム

よく理解して正しく操作してください。

- 電源ポジションがONのときは、ロック装置が作動し、ブレーキペダルを踏んでいないと、**P** からセレクトレバーを動かすことができません。
- セレクトレバーを **P** に入れないと、電源ポジションがLOCKになりません。
- セレクトレバーのボタンを押したままブレーキペダルを踏むと、セレクトレバーを動かさないことがあります。
ブレーキペダルを踏んでから、セレクトレバーのボタンを押してセレクトレバーを動かしてください。

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

違法改造はしない

- 車の性能や機能に適さない部品を装着したり、自己流のエンジン調整や配線などを行わないでください。正常な性能を発揮できなかったり、故障や火災など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 日産が国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違法改造になることがあります。

違法改造



TSA5573Z

- 次のような場合には日産販売会社にご相談ください。
- ・**タイヤ、ロードホイールの交換**
指定以外のタイヤやロードホイールを装着しないでください。工場出荷時に装着される車両専用のアルミロードホイールには、専用の平座ナットを使用してください。性能や機能に支障をきたし、安全な走行ができなくなるおそれがあります。
- ・**電装品、無線機などの取り付け**
適切でない電装品や無線機などを取り付けしないでください。電子機器部品に悪影響を及ぼしたり、誤った配線は故障や火災など、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、バッテリー端子に電装品やアース線などを直接つながないでください。12Vバッテリーがあがる可能性があります。(詳しくは、日産販売会社へご相談ください。)

・ハンドルの取り外しや交換

ハンドルの取り外しや交換を不適切に行うと、SRSエアバッグが正常に作動しなかったり、不意に作動したりして、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。

炎天下で駐車するときは

- 炎天下で駐車するときは車内にライターや炭酸飲料の缶、サングラス、カメラなどを置いたままにしないでください。車内が高温になり、爆発したり変形するおそれがあります。

ガスライターにも注意

- 操作部が露出しているガスライターをグローブボックスなどに入れておいたり、床やシートのすき間に落としたままにしないでください。荷物を押し込んだときやシートを動かしたときに、ガスが噴出して、火災につながるおそれがあります。

工具や布などの置き忘れに注意

- 点検や清掃に使用した工具や布などを、エンジンルーム内に置き忘れないようにしてください。故障や車両火災につながるおそれがあります。

ラジエーターが熱いときはキャップを外さない

- ラジエーターやリザーバタンクが熱いときはキャップを外さないでください。蒸気や熱湯が噴き出し危険です。
- 冷却水の補給は温度が下がってから行ってください。

目次

⚠️ 警告

走行する前に

走行するとき

室内装備の
使いかた車と
あのかた万
一
の
と
きサー
ビス
デー
タさ
く
い
ん

⚠️ 重要です。しっかりお読みください。



こんなことにも注意

冷却水に添加剤などは入れない

- モーター・インバーターなどの電気部品、エンジン・トランスミッションが破損するおそれがあるため、市販されている水漏れ防止剤などの添加剤を冷却水に入れないでください。
- 冷却水は日産純正スーパーロングライフクーラントを必ずご使用ください。

タバコの吸いがらの火は消して

- タバコやマッチなどの火は確実に消し、灰皿のふたは必ず閉めてください。
- 灰皿の中には吸いがらを入れすぎたり、燃えやすい物を入れないでください。



ESG0174Z

ブレーキペダルの高さ調整はしない

- ブレーキの効きが変化することがありますので、ブレーキペダルの高さは調整しないでください。ブレーキペダルの調整が必要な場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



こんなときは異常ではありません

ブレーキペダルを踏むと音がする

- 朝一番及び長時間駐車後の走り始め、又は降雨後や洗車後など湿気が多いときにブレーキペダルを踏むと、“キー”という音がする場合があります。この音はブレーキパッドが水分を吸収し、表面の摩擦力が一時的に変化したためで異常ではありません。
 - これらの音がときどきするのは異常ではありませんが、頻繁に音がする場合は、すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。
 - ブレーキペダルを踏んだときや離れたときにブレーキから音がする場合があります。この音はブレーキシステムによるもので異常ではありません。
- また、ハイブリッドシステムが作動していない状態でブレーキペダルを踏んだときに、ブレーキペダルの操作力が重く感じたり、踏み込める量が少ないとすることがあります。その後、ハイブリッドシステムを始動したときにブレーキ警告灯（赤色表示）（○P.126）又はブレーキシステム警告灯（黄色表示）（○P.128）の点灯がなく、ブレーキペダルの操作感が通常の状態に戻れば異常ではありません。

ヘッドランプなどのレンズ内面がくもる

- ヘッドランプ、制動灯などは、雨天走行や洗車などにより、レンズ内面が一時的にくもることがあります。またヘッドランプ内と外気との温度差により、レンズ内面が結露することもあります。これは雨天時などに窓ガラスがくもるのと同様の現象で、機能上の問題ではありません。
- また、レンズの構造上、レンズのふちに水滴が付着することがありますが、機能上の問題ではありません。
- ただし、ランプ内に水がたまっている場合やレンズ内面に大粒の水滴が付着している場合は、日産販売会社にご相談ください。

⚠ 重要です。しっかりお読みください。



イベントデータレコーダ

車両データの記録・蓄積について

- この車両に装備されている以下システムの各コンピュータはEDR（イベントデータレコーダ）機能を備えています。

以下システムの各コンピュータは正常に作動しているかどうかを常に診断し、EDRで車両が衝突したときの車両データを記録・蓄積しています。

SRSエアバッグシステム

- SRSエアバッグシステムが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
 - ・エアバッグシステムの作動に関する情報
 - ・エアバッグシステムの故障診断情報

ポップアップエンジンフード

- ポップアップエンジンフードが作動したときに下記車両データを記録・蓄積します。
 - ・車両速度
 - ・ポップアップエンジンフードの作動に関する情報
 - ・ポップアップエンジンフードの故障診断情報



知識

- EDR（イベントデータレコーダ）は一般的なデータレコーダとは異なり、会話などの音声や映像は記録しません。

データの扱いについて

- 日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、EDRに記録されたデータを日産自動車の車両衝突安全性能の向上を目的として、取得・利用することがあります。

なお、日産自動車および日産自動車が委託した第三者は、取得したデータを以下の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- ・車両の使用者の同意がある場合
- ・裁判所命令など、法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合